

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	南部地域療育センターそよ風保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年3月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3園	(回答者数) 3園
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを理解し、特性に応じた専門性のある支援を提供できる。	幅広い視点でとらえるため、多職種の専門職員からの意見を聞きながら、支援の方向性や子どもの捉えを多面的にできるようにしている。	アセスメントや支援計画の作成の際に多職種の専門職員の同行を計画的に実施し、子どもの捉えや支援計画に反映できるように努める。また、支援内容によっては、複数職員での同行や専門職員の同行を積極的に実施することを検討している。
2	保護者が訪問先施設での様子を把握し、子どもの理解を深まることで、保護者と訪問先施設とで子どもの理解がしやすくなる。	保護者に訪問先施設での様子や支援内容、園の先生との話した内容などを報告書にまとめ、報告しています。家庭状況に合わせて、報告の仕方は、対面、電話も取り入れています。報告書は必ずお渡ししています。報告書は、支援の内容がよりわかりやすいようにイラストなどを記載するなどの工夫をしています。	報告の際に家庭での状況を把握できるように聞き取りを行い、支援に反映させるようにします。また、家庭でのお子さんへの関わりにも繋げられるように、必要なアドバイスを実施できるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の人数に限りがあるため、支援の方向性の確認や検討がしづらい。	実働している訪問支援員の人数が少ないため、児童発達管理責任者以外に支援の方向性や支援内容についての振り返り、検討をするメンバーが少数になる。	保育所等訪問支援に関わる職員が定期的に集まり、実践の検討や支援の方向性、方針の整理などが行う場を設けていく。
2	非常時等の対応に対して、マニュアル化や発生を想定した訓練等の実施ができていない。	緊急時を想定した対応のマニュアル化が不十分である。	緊急時を想定した対応のマニュアルの作成をすすめる。また、訪問先施設と緊急時の対応についての確認を支援スタート前に確認することが必要だと考える。
3	現在は、対象児を絞っての実施をしている為、受け入れられる対象に限りがある。	実施ケース数がまだ少ないため、まずは、乳幼児の児童に対象を限定しており、訪問支援員の稼働も少なく、対応できるケース数にも限りがある。	現状のケースの実施を進めながら、徐々に複数の訪問支援員で事業を進められるように体制の整備と支援の検討のための会議等の運営をすすめる。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 南部地域療育センターそよ風（保育所等訪問支援事業）

公表日 2025年 3月 27日

利用児童
数

年 月 日 回収数 3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			2		必要に応じた教具教材は持参していますが、今後は保護者にお伝えし、必要なものは、園や家庭生活に使えるようご案内します。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	1				今後はプライバシーに配慮した環境を整える、または、保護者に事前に了承を得て、行います。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					引き続き、事業の目的を適切に説明するようにしていきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					引き続き、園の中で支援が必要な時間について、保護者や園と相談の上、時間の設定をする
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					今後も必要な専門スタッフが丁寧な支援が行われるように計画をてしていきます。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					保護者と園の先生よりお子さんの状況を丁寧にお伝えていただいています。引き続き子どもに
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					子どもが言葉で表現していない部分も含めて、子どもの気持ちに配慮し、支援計画の作成につとめています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					訪問先施設の園の先生の意向をお伺いした上で子どもや保護者の想いも含めた支援計画の作成
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1		支援計画の説明をより丁寧におこないます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					引き続き、お子さん、保護者、園にとってよりよい支援が行えるように努力していきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					園の先生の体制に合わせて、カンファレンスの時間を調節して柔軟に対応しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					引き続き、具体的な支援内容を説明することを心掛けていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2			1		現在行えていません。必要な研修案内については、他機関の研修も含めてご案内させていただきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					支援報告をする際に、電話等で園での様子の共有だけでなく、家庭での様子を把握し、必要な
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					引き続き、保護者からの相談にはすみやかに対応し、支援内容を反映します。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2			1		必要に応じて配慮して行います。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3					
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3					可能な限り、園の先生と時間調節を行い、丁寧な振り返りと打ち合わせができるようにすすめ
非 常 時 等 の 対 応	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3					
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2			1		必要なことは発信していきます。自己評価も公表しています。
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1			2		個人情報については、引き続き十分注意して取り扱います。
満 足 度	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1			2		緊急時の対応については、マニュアル化することが必要と考えています。今後準備を進めま
	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			1		園と事前内容を確認し、安全に配慮して支援を行っています。
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					
28 事業所の支援に満足していますか。	3						今後もお子さんの園生活が楽しくなるように、

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2025年 3月 27日	
南部地域療育センターそよ風（保育所等訪問支援事業）		利用児童数			年 月 日 回収数 3	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			身体に重度の障がいを持たれたお子様を保育するには、経験、知識ともに足りず、実際に間近で見させていただき、大変勉強になりました。その反面、スタート時点での支援員の方との感覚のずれ（そこまで動かしていいんだなど、慣れていらいっしょなことその対応）や園が日頃行っている保育観との違いも多少なりともあり、もっとお互いの考えや活動の内容を理解しながら、すすめていければ、対象児にもよりよい保育を提供できたのではないかと半性があります。	訪問園の保育内容について、より話し合いをし、園の方針に基づいた支援を心がけます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3					
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	3					
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1		対象児が急に変化することはなく、少しずつ成長していくので、劇的に困り事が解消されることはないが、ヒントをいつもいただくことができました。	短期間の支援になるため、園の先生と連携し、よりよい支援となるように努めます。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	3					
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
6回の支援ありがとうございました。集団の中では気づかない細やか部分まで見て、支援や助言をしてくださり、とても勉強になりました。個別対応できる場面ばかりではなく、集団では支援が行き届かないですが、より良い援助ができるように学びを職員で共有して、活かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました！今後ともよろしくお願ひします。				訪問園の保育プログラムや方針を支援員が理解し、園生活がお子様にとって、過ごしやすい楽しい場になるような支援を園と保護者の協力のもとすすめます。		

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	南部地域療育センターそよ風（保育所等訪問支援事業）			公表日	2025年 3月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
監・ 編・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○	通園部の教材等を使用して、子どもに合わせて対応しています。	訪問支援に使用する際の教具教材について、保護者への説明ができるよう今後していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	必要に応じて多職種の専門職員を同行する支援を実施しました。	今後も、必要な支援に応じて、専門職員の同行を計画し、よりよい支援ができるようにします。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	児童発達管理責任者と共にしていますが、十分に取れていません。	支援に関わるスタッフの会議を定期的実施する予定にしています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	保護者向けの評価表の回収につとめました。	評価表をもとに、保護者の意見を把握し、支援内容に反映させられるように引き続き努めます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	評価表をもとに振り返りを行い、業務改善に心がけています。	評価表をもとに具体的な改善策を検討してよりよい支援が行えるようにします。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		今後、第三者による外部評価を行い、必要な業務改善につなげられるようにしていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○	必要な研修を受講し、支援への反映を心がけています。	継続して、研修を受講し、よりよい支援ができるようにしていきます。
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○	子どもの捉えを深めるために、多職種の専門職の意見を聞きながら、お子さんや保護者のニーズの整理をし、支援計画作成を行っています。	アセスメントの際は、児童発達管理責任者および、対象のお子さんの状況に合わせて専門職の同行を計画的にすすめます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	担当者会議で活発な意見を出し合いながら検討を重ねています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○	アセスメントの際に訪問先施設の先生困っていることや知りたいことを丁寧に聞き取り、お子さんの状況と合わせて支援の方向性を整理し、作成しています。	訪問先施設の保育プログラムや方針を把握し、支援員が理解した上で、支援計画や具体的な支援に繋げられるように意識していきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	支援計画については、子どもの具体的な姿を説明しながら、具体的な支援内容を提示するように心がけています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者や訪問先施設が理解しやすいような説明を意識していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	基本1人で動いているため、チームでの確認はできていません。	今後、チームでの連携を支援行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援当日に行う事が難しい場合は、後日、職員間で実施し、支援の方向性の整理をするようにしています。	できるだけ、支援当日に振り返りが実施できるように調節していきます。書面などでの整理をし、情報を共有しやすい方法を検討します。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○	意識はしていますが、不十分などもあるため、訪問先の保育プログラムや方針を知るための情報収集をするようにしています。	ホームページなどでの事前の情報収集だけでなく、直接、訪問支援施設の先生にお聞きしながら、理解を深めて支援に努めます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○	記録は、次の支援の方向性や具体策を記載する項目を作成し、記録を作成しながら振り返るようにしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的なモニタリングを行っています。	モニタリングを通して、作成した支援計画の見直しや次の課題を整理し、保護者と確認するように引き続き行います。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	実際に行っていません。	現在担当しているケースで該当する対象者はいませんが、必要時、移行の際の情報共有や相互理解が図れるようになります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	支援がよりよくなるための多職種の専門職員への相談は定期的実施し、助言などを保護者が訪問施設の先生に対して伝えるようにしています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	実施されている自立支援協議会への参加は年に数回行っています。	今後も積極的に参加していきます。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援報告書や電話、対面など保護者の家庭状況に合わせて、支援内容が理解しやすいように工夫をしています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	実施していません。	他機関含めて研修のご案内をさせていただきます。
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約説明の際に実施しています。		

保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	パンフレットをもとに、具体的な支援内容を話し、事業のイメージがしやすいように心がけています。	訪問先には理解して保育所等訪問支援の受け入れをしていただけるように引き続き努めています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	子どもや保護者の思いを丁寧にとらえた上での支援計画の作成をしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	お子さんの様子から、具体的な園での姿を言葉にしなが、説明するように心がけ、同意を得るようにしています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	支援報告の際に、家庭の状況の聞き取りを意識的に行っています。相談があった場合は、速やかに対応できるようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	家庭状況やお子さんの状況も様々であるため、そのような場を設けることはせず、個別への支援の充実に努めてきました。	父母会、保護者会の検討は当面実施の予定はありません
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	速やかに対応できるようにしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に発信できるように努めます。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取り扱いには留意して実施しています。		
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	必要な場合、専門職員の同行を行い、必要な支援や助言ができるようにしています。	必要な場合に、計画的に専門職員の同行を行い、お子さんだけでなく、訪問先施設にとってよりよい支援ができるように引き続き実施します。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	訪問先施設と時間や実施の仕方を調整し、園の先生が負担がなないようにしながらやり方は園に合わせに行っています。	カンファレンスをするこで、子どもの理解や次の支援内容の確認をすることができるため、引き続き訪問先施設の状況に合わせて柔軟に実施できるようにしていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	家庭状況に合わせて、対面、電話、報告書等で報告しています。支援の状況がわかるようにイラストなども記入しながら、お子さんの園での様子や気持ち理解しやすいように工夫しています。	お子さんへの支援内容が保護者に理解しやすい方法をその都度検討し、子どもの理解や園との連携につなげられるようにしていきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	カンファレンスの際に訪問先施設の先生が困っていること等を話しやすいように努めています。困っていることに対して、園の先生がどのようにしたいか意向も聞きながら、一緒に考えられるようにしています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	訓練等は実施できておりません。	今後のマニュアル作成に努めます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	マニュアル化が必要だと考えていますが、実施できていません。	法人BCPマニュアルを活用します。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		引き続き、ヒヤリハット、事故が発生した場合は、速やかに記録し、法人内の検討委員会に報告します。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	年に1回研修を受け、適切な対応ができるように努めています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約書では説明していますが、今後、記載するように改善します。